

雫石町での活動報告

船木香凛

訪問先: 盛岡セイコー工業株式会社、小岩井農場、岩手山神社、Café room
網張ビジターセンター、YU-YU ファーム、白炭造り職人 坂内さん
移住者交流会、花農家 松の木さん、軽トラ市

日時: 2024 年 8 月 28 日~9 月 2 日

活動内容: 盛岡セイコー工業工場見学、小岩井農場見学、岩手山神社参拝
café room 取材、網張ビジターセンター体験、YU-YU ファームにて乗馬体験
&ピザづくり、白炭づくり、移住者交流会、花農家にて農業体験、軽トラ市
取材

○訪問先の活動から得た学び、感想

今回の雫石町キャリアデザインプログラム通して、雫石町における地元産業がどのように展開されているのか、地方における観光業の在り方、より良いまちづくりの在り方について詳しく知ることができました。一日目の盛岡セイコー工場見学や三日目の白炭作り職人の坂内さんのもとでは、古くから語り継がれている職人技を拝見させていただきました。職人の後継者不足の問題や機械に頼らず手作業で行うことの大切さを学びました。二日目の午前に訪れた小岩井農場や岩木山神社では雫石の豊かな自然環境を堪能しました。二日目の昼食で訪れた café room では社長の吉田さんに雫石で起業したきっかけや雫石に対する思いについて聞かせてもらいました。二日目の網張ビジターセンターではどのようにしたらより多くの人が訪れるのか学生の視点から考えました。具体的にはスタンプラリーの開催や写真パネルの設置などの案が出ました。三日目に訪れた YU-YU ファームでは動物と共に暮らす尊さを学びました。四日目の午前は移住者交流会に参加しました。大学生が中心となってアヒージョやチーズケーキづくり、ラベンダーの香り袋を作りました。皆さんが感じる雫石の魅力や雫石に住むきっかけを聞かせてもらいました。住民同士の縦・横のつながりを強化するために良い取り組みだなと感じました。また、花農家の松の木さんでは実際に種まきを体験しその後、花農家さんが抱えるフラワーロスの解決策を考えました。具体的には花の定期便に提供する、レジン加工するなどの案が出ました。五日目の元祖軽トラ市での地域のお店の方への取材ではそれぞれが商店街活性化に懸ける思いを聞かせていただきました。

○取材内容（軽トラ市）

- ・軽トラ市を通して商店街活性化を行う思い
- ・若い世代が中心となって農業を盛り上げるためにしている取り組み

- ・地域に根付いたレシピを継承するための工夫

- ・空き店舗活用事業の取り組み内容

○学生の意見（雫石をより良いまちにするために）

- ・交通インフラの整備

- ・SNS を用いた積極的な PR 活動

- ・外国人観光客の受け入れ体制

○岩手で暮らしてみて

雫石町の方々は皆さん温かく、笑顔が素敵な方ばかりでした。特に私が感じたのは住民の方同士が家族のようにお互いに支え合って生活しているということです。どこへ行っても知り合いがいて、お互いを気にかけている様子でした。また、一人一人がどのようにすれば雫石がより良いまちになるのかを考えていて、住民主体のまちづくりが行われているなと感じました。今後私たちが地方活性化や都市政策について考える際、私たちの理想を一方的に押し付けるのではなく、地域の方々の意見を尊重していきたいです